

前 期 日 程

令和 7 年度入学試験問題（前期日程）

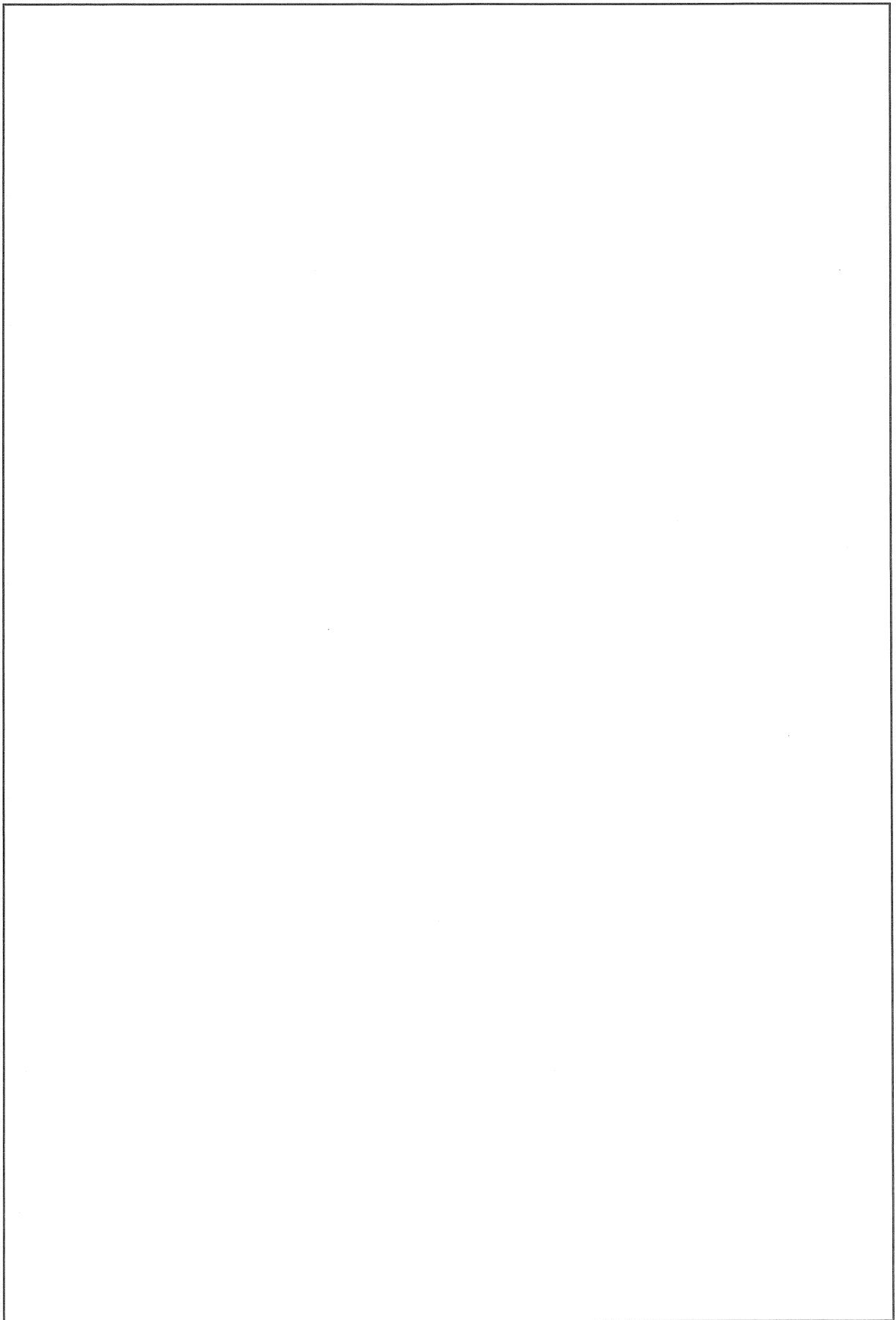
国 語

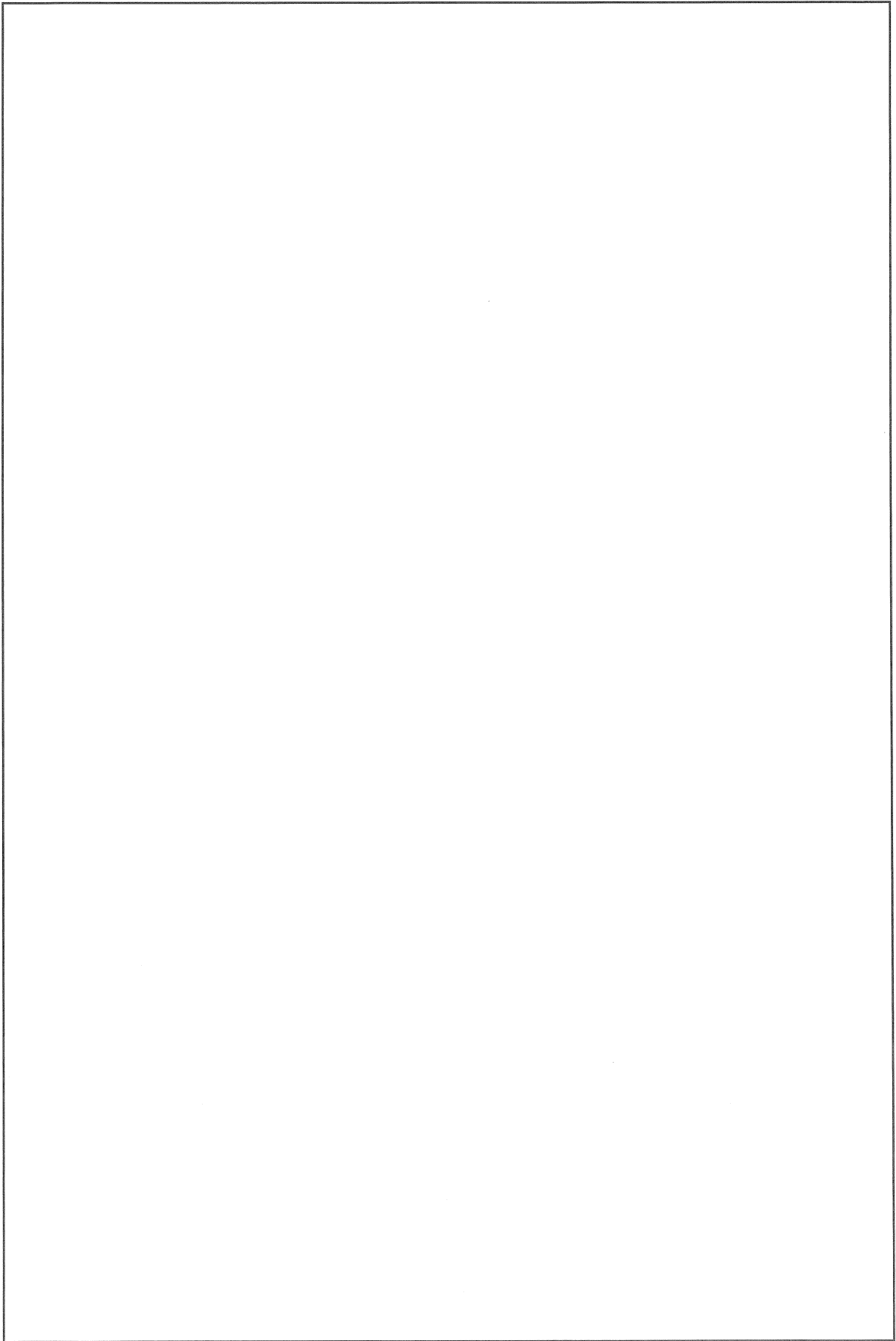
（教育学部）

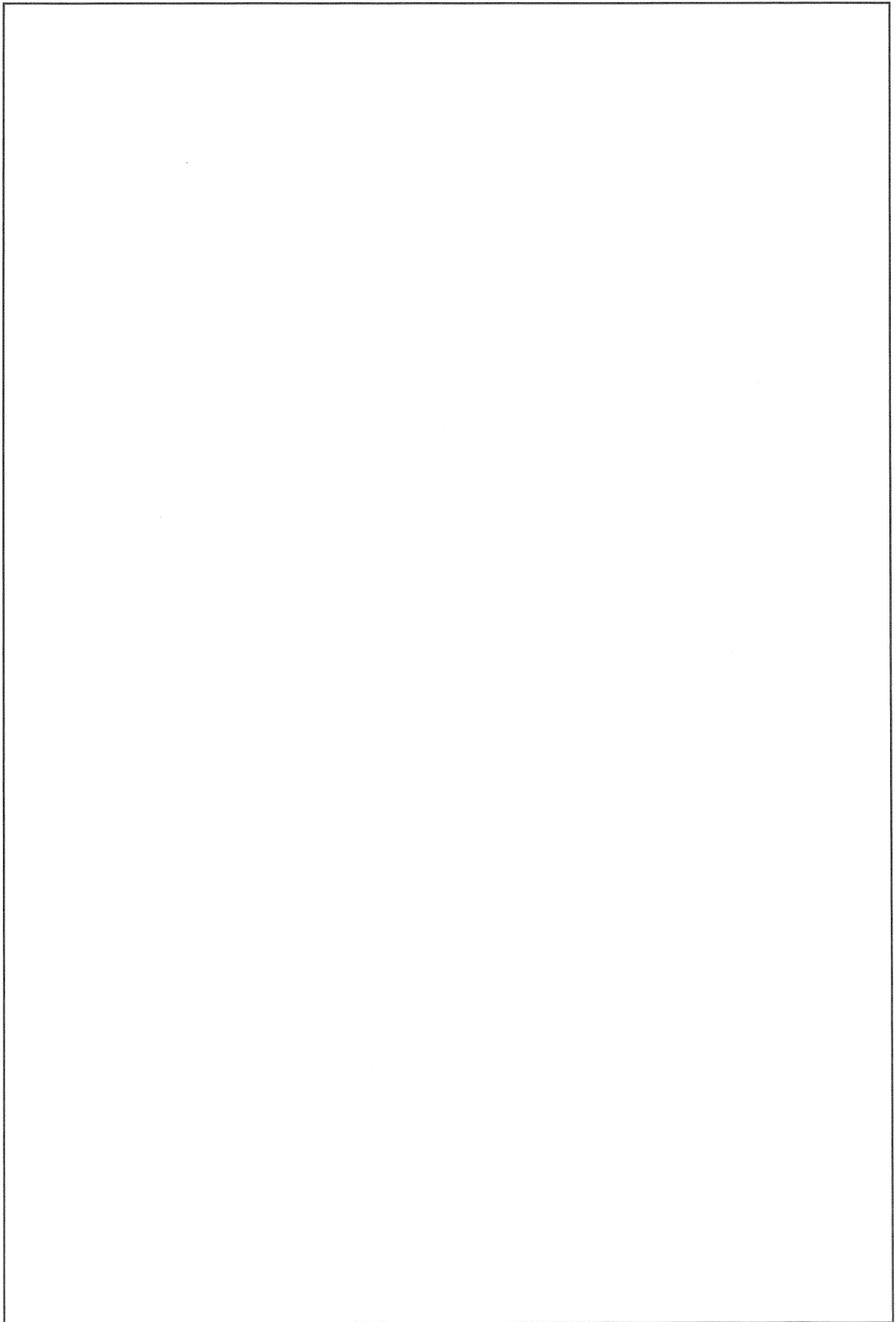
———— 解 答 上 の 注 意 事 項 ————

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 問題冊子 1 冊と解答紙 2 枚がある。
- 3 問題は 3 問ある。（すべての問題に解答すること。）
- 4 問題の解答は、解答紙の所定の解答欄に記入すること。
- 5 問題冊子は持ち帰ること。

— 次の文章をよく読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、原文を一部改めたところがある。) (50点)







(浅野智彦「若者の友人関係とそのゆくえ」による)

注

- 1、5、7、9、14、15 いずれも社会学などを専門とする日本の研究者。
- 2 木村直恵『青年』の誕生——明治日本における政治的実践の転換』新曜社、一九九八年、二二八—二二九ページより引用。
- 3 ここでは、両者が不可分であるさま。
- 4 木村直恵『青年』の誕生——明治日本における政治的実践の転換』新曜社、一九九八年、二二九ページより引用。
- 8 ここでは、その人の全体性が像として結ばれるような、内面のある一点を示す語として、比喩的に用いられている。もとは、「平行光線が凹レンズ、凸面鏡などによって発散させられるとき、発散した光線を逆方向に延長して結ぶ点」のこと。
- 10 原文の注に、「対象は東京都杉並区および神戸市灘区・東灘区に住む一六歳から二九歳の男女である。回答者は住民基本台帳を用いて偏りが生じないように選び出している」とある。
- 11 原文の注に、「ただしここでいう一〇代は一六歳から一九歳のみを含む」とある。
- 12 ポーランド出身の社会学者。一九二五—二〇一七。
- 13 本冊子2ページ下段18行目から、4ページ下段17行目までを指す。

問一 二重傍線部アゝエのカタカナを漢字に直しなさい。

問二

カ
く

ク

 にあてはまる適切な語を次の①②から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ①肯定的 ②否定的

問三

ケ

 にあてはまる人名として最も適切なものを次の①～④から選び、記号で答えなさい。

- ①橋元良明 ②北田暁大 ③辻大介 ④福重清

問四 傍線部A「直感的透明性としての友人」とはということか、簡潔に説明しなさい。

問五 傍線部B「遠近法それ自体の問い直し」とはどういうことか、本文を踏まえて具体的に説明しなさい。

問六 傍線部C「この見立ては……対応している」とはどういうことか、本文中の語句を用いて説明しなさい。

問七 傍線部D「前者が……含んでいる」について、次の(1)(2)に答えなさい。

- (1) 「前者」「後者」はそれぞれ何を指すか、最も適切な語句を本文中から抜き出しなさい。
- (2) 「なかよくなるのとは別の方向性を含んでいる」とは具体的にどのようなことをいっていると考えられるか。あなたの経験や身近な事例などを示しながら、分かりやすく述べなさい。

二 次の文章は『浜松中納言物語』の一節である。「」の部分を読み後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文の表記を改変した箇所がある。)(30点)

注

*母君……唐の後。若君の母。

*変化のもの……仮に人の姿になって現れる神や仏。

*ほかの世……ほかの国。唐のこと。

*この世にすこし隔たるやう添はむ……この日本で少し分け隔てるようなことが加わろう。

*母上……中納言の母。「このほど」以下は中納言が母に書いた手紙。

*中将の乳母……中納言の乳母の名。

*夜を昼になしてくださせ給へ……京から、夜も昼も休まずに船の着く筑紫へ下らせてください。

*あなかしこ……手紙の末尾に「恐れ多い」の意味で用いる。

*姫君……中納言が恋しく思う姫君。中納言が唐に渡る前に思いがけず契りを結び、娘を産んでいる。

*宰相の君……姫君の側近の女房。

*言葉おろかならむやは……言葉がおろそかであるはずがあらうか。

*をち……遠方。

問一 二重傍線部①・②の助動詞の意味を答えなさい。

問二 波線部ア「給ふ」イ「聞こえ」について、それぞれ誰から誰への敬意を表しているか答えなさい。

問三 傍線部A「いささかなぐさみにけり」とありますが、なぜなぐさめられたのか、簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部B「かたみ」とは何を指すか、説明しなさい。

問五 傍線部C「いよいよ白うつくしげに、光るやうになりまさり」について、次の問いに答えなさい。

(1) 誰がどのようなことになることをあらわしているかを説明しなさい。

(2) なぜそうなったのかを答えなさい。

問六 傍線部Dの歌について、次の問いに答えなさい。

(1) この歌に用いられた掛詞を抜き出し、二つの意味の違いが分かるように説明しなさい。

(2) この歌に込められた気持ちを説明しなさい。

問七 傍線部E「ものをおほえ給はず」に表れた「母上」の気持ちを説明しなさい。

三 次のⅠの文章は漢の賈誼かぎの伝記であり、Ⅱはその伝記をもとに唐の李商隱しやういんが書いた詩である。またⅢは宋の嚴有翼げんいうよくが文人の詩を論評するなかで、Ⅱの詩の創意について述べた文章である。賈誼は漢の文帝に仕えた人物であり、他の臣下に妬まれて南方に左遷されたが、後に朝廷に呼び戻された。Ⅰは賈誼が朝廷に呼び戻され、文帝に謁見したときのことを記したものである。Ⅰ・Ⅱ・Ⅲをよく読んで後の問いに答えなさい。(設問の都合上、送り仮名を省略したところがある。)(20点)

注 賈生……賈誼を指す。

孝文帝……文帝を指す。

釐……祭りのとき神に供えられる肉。祭りが終わったのでこのとき文帝のもとに届けられた。

宣室……宮殿の部屋の名。

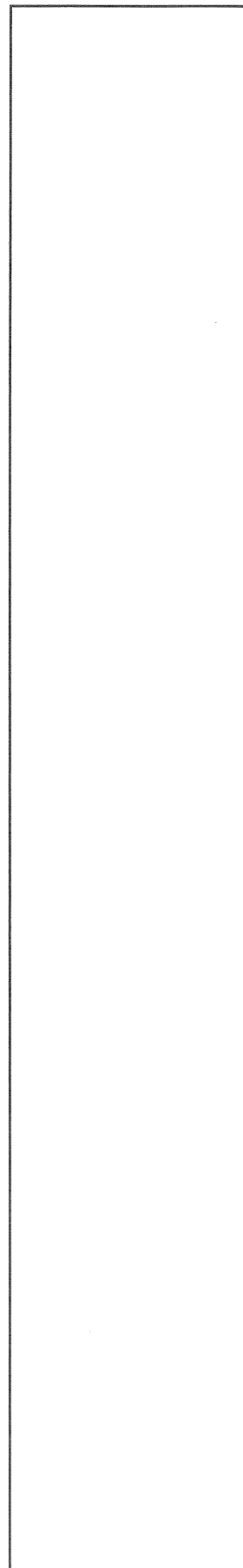
上……文帝を指す。

所以然之状……そうである原因のありよう。鬼神に関する神秘的なことがらがなぜそうであるのか、に関する具体的な事情や原因。

前席……しきものを前に進める。賈誼の話に聞き入って彼に近づくさま。

梁懷王太傅……梁の懷王は文帝の子供の一人。太傅は補佐役。

II

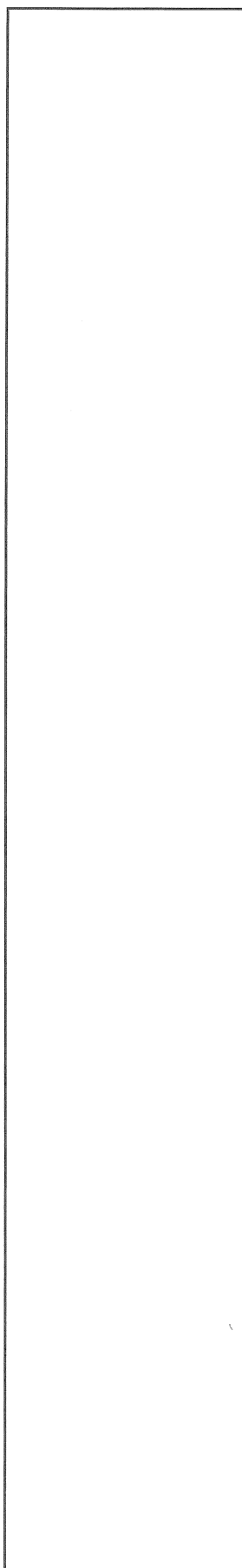


(『李義山詩集』より)

注 訪逐臣……左遷された臣下に意見を尋ねる。

才調……才能。

蒼生……民衆。



(『詩人玉屑』に引く『芸苑雌黄』より)

注 其意……その本来の趣旨。

李義山……李商隱のこと。

問一 傍線部①③の文中における読み方を、送り仮名も含めてすべてひらがなで記しなさい。(仮名遣いは新旧どちらでもよい。)

問二 傍線部Aを送り仮名も含めてすべてひらがなで書き下し文にしなさい。(仮名遣いは新旧どちらでもよい。)

問三 傍線部Bをわかりやすく現代語訳しなさい。

問四 傍線部C「可憐」は残念であるという意味だが、ここでは何が残念だと言っているのか、Ⅱの詩全体を踏まえて答えなさい。

問五 傍線部D「反其意而用之」は、Ⅱの詩における故事の用い方について述べたものである。どのようなことを述べているのか、ⅠとⅡを踏まえて具体的に説明しなさい。